

水谷テニス 15—15 で大会に参加するジュニアのみんな！頑張らしましょう。

とその前にルールを覚えなくては…数え方は大丈夫だと思いますが、次のことを理解しましょう。

試合前に受付本部へボールをもらいに行き対戦相手を確認します。

ゲームを始める前はあいさつ「おねがいします。」し、試合が終わったら握手します。「ありがとうございました。」通常勝った方がボールを持って受付に報告します。

セルフジャッジ

ポイントを数えたり（カウント）、ボールがコートに入ったかどうかは自分達で言わなくてはいけません。カウントはサーバー（サーブをしてる人）が相手に聞こえるように言わなくてはいけません。自分側のコートはアウトやフォールトを言わないとインとみなされるのははっきり言いましょ。

トス

ゲームを始める前にサーブを決めます。→トスで決める。

トス＝ひとりがラケットを回して、ひとりがアップかダウンどちらか（ラケットの表か裏か）を言って当てます。表裏の正解はグリップエンドのマークで分かります。回した人が相手にを見せます。当たった方が、サーブかレシーブを選べます。外れた人はコートのどちら側（エンド）か選べます。

デュース

40—40 になった場合、相手に対して 2 ポイント差をつけるまでそのゲームは続きます。

デュースから 1 ポイント取った方はアドバンテージ〇〇と言います。

〇〇は名前か、もしくはアドバンテージサーバー、アドバンテージレシーバーと言います。

チェンジエンド

エンド（コートに立つ場所、ネットの北か南か）は 1 ゲーム終わって交代、その後は 2 ゲーム交代。

タイブレーク等

1 セットマッチの試合の場合は 6 ゲーム取ったら勝ちで終わりです。ただし相手に 2 ゲームの差がないといけないので 6—5 では終わらず 7—5 まで行います。（5—5 はゲームのデュース）

6—6 になったら昔はまたデュースゲーム（相手に対して 2 ゲーム差をつけるまで）でしたが、今はきりがないのでタイブレークというのを使っています。

タイブレーク＝7 ポイントとれば勝ち。ただしデュースはずっと続きます。

この時のサーブは最初 1 ポイントで次から 2 ポイント交代、エンドは合計 6 ポイントずつで交代。

（このゲームで最初にサーブした方がタイブレークの最初のサーブスタート。）

ボールが隣に入った場合、そこがゲーム中であった場合、ポイントが途切れるまで取りに行ってもいいけません。